

あなたと議会をむすぶ

ぎかい広報誌



私たちの

しょうわ 町議会

2005

No

124

1月25日号

手押しポンプ車も出初式に出動！



築地新居区で大切に保存されている昔の手押しポンプ車

● 12月定例議会

こういうことが決まりました 2ページ
(補正予算・条例ほか)

委員会レポート 3ページ

5議員が一般質問 4～9ページ

わたしの好きなまちしょうわ(伊藤 駿くん) 12ページ

発行 / 山梨県昭和町議会
〒409-3880 山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2
TEL. 055-275-2111 FAX. 055-275-2109
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

発行人 / 議長 五味 政
編集 / 議会広報編集委員会

12月議会で こういふことが 決まりました

一般会計補正予算 (第四号)

今回の補正予算(第四号)は、二億三、八九九万四千円を補正増し、予算総額を六八億三、九五九万円とするもので、全会一致で可決しました。

歳入 補正財源

町民税の税収見込み増と地方税の制度減税による減収額を埋めるための減税補てん債および元利補給金制度がある有利な市町村振興資金を充当したのが主な内容です。

歳出 使いみち

剪定枝粉碎車の購入、県営事業の農村自然環境整備事業負担金、下水道舗装工事費、河川改修工事費をはじめ、緊急に必要な事業費を補正増しました。

併せて事業執行後の契約差金等の不用額を処理し、余剰金として必要基金(校舎建設基金・財政調整基金)に積み立てました。

特別会計補正予算 (第二号)

平成十六年度昭和町下水道事業特別会計補正予算(第二号)

今回の補正予算(第二号)は、一、七七五万九千円を補正増し、予算総額を十一億五、五〇五万九千円とするものです。

歳入では、下水道受益者負担金五九三万二千元、下水道使用料一、一八二万七千円を増額補正しました。

歳出では、一般管理費の人件費を減額し、下水道管理費の報償費の減と需用費の増を相殺する中で、公共下水道費の町県道舗装本復旧負担金九四三万円、上水道管移設補償費一、〇七六万円をそれぞれ増額補正し、全会一致で可決しました。

条例制定

昭和町西条・彩の広場管理棟設置及び管理運営に関する条例

昭和町西条第一土地区

画整理事業組合から土地区画整理法第一〇六条第一項の規定により移管された、昭和町西条・彩の広場管理棟の設置および管理運営条例で、全会一致で可決しました。

昭和町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

行政手続のオンライン化を推進するにあたり、各業務に共通する法制上の措置を行うための条例で、全会一致で可決しました。

条例改正

昭和町議会委員会条例の改正

平成十六年第三回昭和町議会定例会で、地方分権対策特別委員会が設置されたことに伴い、議会運営委員会の委員の定数を改正するための条例改正で、全会一致で可決しました。

昭和町議会広報の発行に関する条例改正

平成十六年第三回昭和

町議会定例会で、地方分権対策特別委員会が設置されたことに伴い、広報編集委員の定数を改正する条例の一部改正で、全会一致で可決しました。

昭和町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例改正

災害時の体制強化のため、消防団員の定員を定める条例の一部改正で、全会一致で可決しました。

協議

【合併関係】

甲斐市、身延町、笛吹市および北杜市の設置に伴い、それぞれの関係団体の規約変更について、地方自治法第二八六条第一項の規定により、協議が必要のため、議会の議決を求められたもので、全会一致で承認しました。

山梨県市町村総合事務組合規約の一部改正

山梨県市町村合併に伴う山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数

の変更

山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部改正

【定数改正】

南アルプス市議会議員の定数の改正に伴い、同市選出の中巨摩地区広域事務組合議員と三郡衛生組合議員の定数変更について、協議が必要のため、議会の議決を求められたもので、全会一致で承認しました。

中巨摩地区広域事務組合規約の一部改正

三郡衛生組合規約の一部改正

訂正とお詫び

123号の3頁、離脱賛成の文中「犠牲的」は、「理性的」でした。訂正とお詫びを申し上げます。

委員会 …れば〜と

委員長 河田 あけみ
十二月八日、午後一時三十分に関会し、付託された中巨摩地区広域事務組合規約、三郡衛生組合規約の一部改正と総務常任委員長から審査依頼された一般会計補正予算の中で、当委員会に係る部門について審査し、

教育厚生 常任委員会

委員長 井上 仲千
地方分権対策特別委員会は、十二月七日午後一時三十分に関会し、政策法制課長から市町村合併特例法第四条の規定による合併協議会設置の請求（住民発議）の経過と行財政改革推進の経過報告を受けました。
その他の問題は継続審査と決しました。

水源対策 特別委員会

委員長 萩原 馨
水源対策特別委員会は、十二月七日午前十時五十分に関会し、産業課長から井戸掘削報告三件、補償井戸 二十二号井の掘替え工法の変更の報告を受けました。
その他の問題は継続審査と決しました。

地方分権 対策 特別委員会

委員長 井上 仲千
地方分権対策特別委員会は、十二月七日午後一時三十分に関会し、政策法制課長から市町村合併特例法第四条の規定による合併協議会設置の請求（住民発議）の経過と行財政改革推進の経過報告を受けました。



県下初の新工法・水路改良工事（西条二区）

原案どおり可決しました。

おもな質疑

問 プールの昼休みの時間常に関館できないか。
答 昼休みには必ず清掃時間帯を入れているので難しい。

問 押原小正門前のスピードを緩める対応策はないか。
答 新年度要望として提出していただきたい。

問 子供の居場所づくりが重複していないか。
答 関係機関と協議し検討していきたい。

また、次世代育成支援対策福祉協議会の状況並

委員長 浅川 武男
十二月九日、午前九時に関会し、当委員会に付託された昭和町下水道事業特別会計補正予算、総

産業土木 常任委員会

びに給食センターの運営状況の報告がありました。その他、剪定枝粉砕処理車、給食食材の地産地消、騒音・防塵対策、雑草の草刈り、あいさつ運動についての質疑がありました。

委員長 浅川 武男
十二月九日、午後一時三十分から開会し、当委員会に付託された昭和町一般会計補正予算の中で、当委員会に係る部門について審査し、原案どおり可決しました。

おもな質疑

また、西条二区前切地内水路改良工事において、県内で初めて採用されたFRPトラフィンサート工法の現場視察を行いました。

委員長 井口 孝裕
十二月九日、午後一時三十分から開会し、当委員会に付託された条例制定、条例改正、規約の一部改正、昭和町一般会計補正予算について慎重審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

総務 常任委員会

委員長 井口 孝裕
十二月九日、午後一時三十分から開会し、当委員会に付託された条例制定、条例改正、規約の一部改正、昭和町一般会計補正予算について慎重審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

問 消防積載車の更新計画は。
答 補助金絡みなので、前向きに検討していく。

問 区画整理事業の専従職員の配置は。
答 組合で雇用するよう指導する。

問 下水道工事の進捗状況は。
答 本年度分は、年度内竣工で予定しています。

その他、河川の浚渫、有休農地等の雑草、区画整理事業関係、調整区域白地の宅地緩和問題についての質疑がありました。

その他、彩の広場管理棟、清水新居の児童館、外部団体の補助金、行財政改革審議委員、入札関係、ホームページについての質疑がありました。

町政を問う ここが聞きたい!

Q 単独町政 推進の方針を問う



河西 忠則 議員

問 町の財政は、企業からの税収は前年度を下回ったものの、昭和五十九年度から連続二十一年間の不交付団体となり、三年平均の財政力指数は県内一位の一・四四です。しかし景気低迷や産業構造の変化により町の税収も厳しさを増し、財政運営には創意工夫が求められます。

今回の玉穂・昭和・田富三町合協からの離脱は、佐野町長の「住民意向調査の結果尊重」という判断であったと思います。八月の臨時議会では、これから本町単独で町政を推進する体制づくりのため課設置条例を改正し、真剣に取り組んでいます。議会も九月「地方分権対

A 住民参加型 「まちづくり委員会」設置へ

策特別委員会」を設置し、執行部と切磋琢磨しながら町政を推進しようとしています。が、あらためて町長の町政推進についての考えを伺います。

佐野精一町長 合併せず、二十一世紀のまちづくりを進めるため、新設の政策法制課が第二次行政改革大綱づくりを進めています。三町合協協議の



保存されている歴史民俗資料（常永小学校）

問 「温故知新」また「歴史は未来を拓く羅針盤」ともいわれます。都市化が加速する本町の歴史、考古、民俗文化の各分野の貴重な資料や遺跡を収集、調査、保全し、その成果を常設展示したり、社会教育、学校教育に生かしていくことは極めて大切です。本町の文化財としては、県指定の「妙

Q 歴史民俗資料館の整備を

問 福寺の「鱧口」をはじめ、明治初期に正法寺で開かれた「押原学校」「源義清公館跡」「かすみ堤」や鎌田川源氏菟公園などがあります。現在の保存状況と管理はどのようになっていますか。第四次総合計画では、「考古博物館や歴史民俗資料館など、地域の文化活動拠点の整備を促進」と位置

進めます。行革は単なる経費減らしではなく、「住民が求める、公平で適正なサービス」という視点での一歩前進が必要であり、そのために新たに「まちづくり委員会」を発足させるために、現在、委員を公募し町民に呼びかけています。今後第五次総合計画の策定に向け、この委員会をはじめ広く住民の声を聞いてまいります。議会の特別委員会で行政と議会が積極的に意見を交わしながら、活気あるまちづくりができることを願っています。

一般質問

12月議会では5人の議員が質問に立ちました。
以下はその要約です

付けられています。来年計画期間末を迎えるにあたり、実施計画の芽出しは考えていますか。

A 第五次総合計画に継続して位置付けたい

佐野町長 考古・民俗資料は一度失われると回復できない貴重な財産であり、収集調査、研究、保存、展示公開は大切なことです。都市化が進む本町で、郷土の文化を次世代に伝える必要については同感です。
教育長 町の歴史民俗資料は農機具関係四点、日常生活用品六点、消防関係三点、神輿一点、機織り機一点、その他数点で、倉庫に保存してありますが、保存状態は決してよいとはいえません。農機具は社会科資料として常永小学校に貸し出し展示しています。
歴史民俗資料館整備の実施計画は、他の事業との関係もあり、延ばさざるを得ないと思います。今後資料の収集に取り組み、他の公共施設への展

示も含め検討したいと考えています。

(再質問)

問 大きな建物は必要でなく、町民がいつでも町の歴史を勉強できるような環境を作ってください。歴史民俗資料館の整備は

第五次の総合計画に入りたいということですか。教育長 消防ポンプなど大きい物もありますが、できるだけ展示できるよう考えます。第五次総合計画の中には当然含まれると思います。

Q 西条小の児童数増加対策
増築よりも通学区域を見直しては



井口 孝裕 議員

問 西条地区は人口の増加により、西条小学校の児童数は増加の一途をたどっています。
十六年四月現在の児童数は、常永小三三四人、押原小三二七人、西条小四五一一人です。
町はこの対策として、西条小学校の増築を計画していますが、合併離脱後の町は区画整理事業をはじめ多くの事業を抱え、

財政は厳しい状況だと思えます。西条小の増築よりも、小学校の通学区域を見直し、各小学校児童数の均等化を図ってはどうか。

例えば西条二区の県道市川大門線から国母駅までの児童は押原小に通学してもらおうにすれば、通学距離もあまり変わらず、この地域は道路に側道も付き、街灯も新しく通学路に適しています。研究する価値はあると思いますが、いかがですか。

基本計画どおり
西条小の改築へ
通学区域見直しは考えず

A



児童数が増えている西条小学校

教育長 少子化の中で、本町では児童数が増えています。来年度入学の新生一年生は押原小が四八人で二クラス、常永小が七人で三クラス、西条小は今のところ八七人で三クラスを予定しています。が、あと四人増えれば四クラス編成になり、微妙な所です。一学級増の十五学級を予定しています。が、そうなる空き教室は現在生徒会室に使っている一つのみで、三階の図工室を普通教室に転用すれば二教室になります。通学区域の変更は、地域での子供の育成事業や自治会運営上問題がないか、懸念されます。地域性を考えると通学区域の変更は難しいと思います。現在一、二年生は三十人学級です。少人数学級や習熟度別、T・T授業など、今後の学習形態を考えると教室には余裕がなく、オープンスペースを確保した施設整備が望ましいと思います。町長には早急な検討をお願いし

町政を問う

ここが聞きたい!



たいと考えています。

問 財政面とのバランスを考えて、よく検討してほしいと思います。

教育長 教育委員会とすれば三校体制で、地域に根付き、開かれた学校ということから、今の西条小の整備、改築という考え方で町長には要望しますが、あとは財政面を踏まえての最終判断になるうかと思えます。

（関連質問）
浅川武男議員 押原小改築の時点で、西条小の児童数増加の予測もできたとはいえますが、押原小へ取り込む考え方はなかったのでしょうか。
教育長 基本計画に位置づけられたとおり、あくまで西条小学校の改築という考えで進めてきました。

Q 環境問題三点 町の対応を問う



深澤 平助 議員

問 過去に質問した環境問題三点について、その後の町の対応を伺います。
1 廃棄物減量のため燃えるごみの一層の分別化と生ごみの活用を（平成十四年九月議会・町の答弁は「計画推進の上で参考にする」）

2 中巨摩広域から出る焼却灰の最終処理は（十五年三月議会・答弁は「広域の町村と協議する」）
3 クリーンエネルギー普及のため、太陽光発電設備に町補助を（十六年三月議会・答弁は「具体的支援策は今後検討」）

A 関係機関と協議、検討中

佐野町長 昭和町は平成三年に資源回収ボックスを設置して以来、ごみの減量化には先進的な努力

をしてきました。十五年度にはプラスチック、今年はミックスペーパーの回収を開始し、一層のごみ減量に努めています。

剪定枝の粉碎処理車の購入を今回補正予算として計上しており、可決されれば十七年度から稼働して、ごみ減量化やリサイクル率の向上に貢献できます。

1 生ごみの活用は、収集方法の変更が必要であり、今後さらに議論を進めます。

2 焼却灰の最終処理は、山梨県の廃棄物処理計画に基づいて関係機関で協議中です。広域として県の計画施設を利用するのか、広域独自で施設を造るのか、難しい問題であり、今後も関係機関と協議が必要です。

3 太陽光発電設備の補助は、近隣市町村や国の動向を調査している段階です。

今後行革推進会議や、まちづくり委員会などのご意見も聞きながら、速やかに補助制度の検討を始めたいと思います。

Q 地下水保全の条例制定と観測体制が必要

問 現在、地下水の掘削は県に申請して許可を得ればそれでよく、町も議会に報告するだけです。九月議会の水源対策特別委員会への報告の中にも不適切と思われる点がありました。チェックする権限はありません。地下水資源を保全する町条例

例の制定が必要です。平成九年九月議会で、町も「規制する条例は必要、県とも協議しながら、しかるべき措置を講じていく」と答弁しています。早急に具体化するよう強く要求します。
町の地下水の状況はどう変化しているのか、平



分別収集で減量化を図る資源回収ボックス



一般質問

成九年から二カ所の井戸で観測していますが、これでは正確に観測できないと思いますので、町の

中心部に観測井戸を設置することが必要ではないかと思えます。

A 早急に条例制定へ 町の観測井戸新設は検討する

昭和浄水場を含めて水位の測量を実施し、西条小を基準としての地盤沈下の調査結果も毎年報告されています。

町では二カ所で、県も

観測井戸の設置は、今後既存の観測状況を確認し、市水道局や県とも協議してその必要性があるかどうか検討したいと思えます。

佐野成男産業課長 観測

り、観測結果から判断できず。
ここ数年間はほぼ横這いで推移しており、地下水の過剰取水による被害は特に出していません。
(再質問)

佐野町長 昭和町は地下水が豊富ということで、昭和浄水場から甲府市南部と玉穂町に一日平均二万九千立方メートルを取水しています。また国母・釜無の両工業団地の企業や、農業用補償井戸、工業・生活用などの浅井戸、深井戸が約一千ほどあり、地下水が大量に汲み上げられています。

要と前から認識していましたが。限りある地下水資源を保全するため、取水の適正化を図り、大量取水による地盤沈下を未然に防止する条例を早急に制定したいと考えています。地下水の観測体制は、現在甲府市水道局が

甲府盆地内の地下水変動と地盤沈下の状況を毎年調査しています。地盤沈下は過剰な地下水の取水により、粘土層が収縮することが原因だといいますが、昭和町はこの粘土層はほとんど分布しておらず、砂礫層で構成されているようです。

町は義清神社の二区公会堂と上河東公会堂前で水位を観測しています。県観光部では盆地内の三十九カ所に一級水準点を設けて水位の観測をしており、うち本町には西条二区、飯喰、上河東、紙漣阿原の四カ所の観測地があり、地盤沈下を測量しています。また水位観測井戸も十一カ所十四個設置して水位の長期観測をしています。このうち甲府市の里吉と中小河原、甲斐市の玉川、玉穂町、田富町の七カ所は本町付近に設置されてお

四、〇七九キロワットであり、その結果二酸化炭素の排出削減量が一、四〇〇キログラムに達したということ。地球温暖化防止のために、太陽光発電の補助制度を早急に実施していただきたいと思えます。

井戸の掘削は、県の要綱で、一日十立方メートル以上採取する場合は県と協議する」となっており、町は独自の指導要綱で十立方メートル以下の場合も事前協議をして指導しています。

都市化の進行、企業の

発展、住民生活形態の変化等により給水量も増加し、地下水の状況も変化していくと思われ。なんらかの保全対策が必



豊富な水資源を大切に守ろう

佐野町長 太陽光発電は、学識経験者等を交えても少し勉強したいので、時間をいただきたいと思えます。地下水の問題は子供たちにも勉強させたいと考えています。

昭和町の地下水が一年間、また十年間にどう変化しているのかを知ることとは、教育上も大切だと思えます。

町政を問う ここが聞きたい!

Q 私立幼稚園の 就園奨励補助拡大を



河田あけみ 議員

問 町は子育て支援に努力し、保育園の保育料は国の基準より大幅に拡大していますが、私立幼稚園への就園奨励補助は基準以下であり、幼・保

の父母負担にはかなりの格差があり、不平等に感じられると思います。実際には保育園の定員がいっぱいとか、仕事の関係で幼稚園に入ることもありません。最近は「幼保一元化」も取り入れられようとしており、今後補助の見直しをすべきだと思いますが、町の考えを伺います。

A 幼・保の公平化を めざし検討する

堀口勉教育長 町の私立幼稚園就園奨励補助金交付規則は、昭和六十三年三月に定められ、平成十二年に改正されましたが、補助金の限度額は当初から改正されていません。町内の幼児が通っている幼稚園は現在十七園ありますが、町内には一園もなく、玉穂町、田富町と相談して補助額を決めてきました。

幼・保の父母負担格差は次世代育成支援対策会議でも検討課題になっていきます。

団体代表による、推進組織の設置が必要だと思います。

ハード面では学校や通路の安全対策、道路・公園・駐車場などの見通しや夜間の照明、防犯対策器具の普及、そしてソフト面では何より住民が自らの安全は自ら守るといふ基本と、お互いに支え合い、守り合うというコミニティーづくりの意識が大切です。今後どのように対処していくか伺います。

A 全町体制の 確立へ

佐野町長 県内でも犯罪が年々増え、その中でも昭和町は最も犯罪や事故の多い地域です。犯罪の発生をなくすには、町民一人ひとりが地域の安全について考え、連帯感を強め、自主的な活動を推進することがなにより大切です。

問 奈良県の幼児殺害事件、県内では誘拐を偽装した恐喝未遂事件など犯



鷹野 一雄 議員

Q 安全・安心の まちづくりに対する対処

件、県内では誘拐を偽装した恐喝未遂事件など犯

指針、行政と町民、各種

ご提言のあったハード

面の整備を図るとともに

消防、区長会、PTAなど

各種団体を主体とした

組織を早急に立ち上げ、



お母さんと一緒にミニ門松づくり(総合会館)

一般質問



いざという時に役立つ防災無線放送スピーカー

佐野町長 本町の防災行政無線は、昭和五十六年に整備して以来二十数年が経過しており、都市化により当時の二、五〇〇世帯が六、三〇〇世帯に増えたため必然的に難聴地域も増えてきました。ここ二、三年前から設備の老朽化による雑音など不具合が生じ、町民にこ

迷惑をおかけしているのも事実です。有事に備えて庁舎と情報センターの二カ所に自家発電装置を備え、週一回試運転もしています。平成十八年度に、国の補助を受けて、デジタル化、双方向通信など災害にも強い緊急通信システムの整備を図る計画です。また消防団をはじめ各地の自主防災組織の強化、防災倉庫や資機材の整備も重要です。

にも取り組んでいきたいと思えます。(再々質問) 問 防犯活動をする団体に、助成その他の援助を考えていただきたい。また児童に防犯ブザーも貸与されていますが、防犯ブザーも進化していますので、調査検討をお願いします。 教育長 PTAなどいろいろな取り組みをいただいています。具体的なお話があれば教育委員会としても考えます。今年四月から全児童に防犯ブザーを貸与したところであり、運用管理、費用対効果、個人の行動など、研究させていただきたいと思えます。

- 海野豊学校教育課長 本町でも不審者の出没や、下校時に子供が見知らぬ人に声をかけられたとかいうことも出ています。防犯ブザーも貸与して状況をみています。PTAや地域では防犯パトロール、子供110番などいろいろな形で積極的に取り組んでいただいております。

A 18年度にシステム更新 デジタル化も

問 新潟県中越地震ではライフラインが寸断され、固定電話、携帯電話も不通となり、唯一の頼みの綱である防災無線も使用不能となりました。昭和町の防災無線には難聴地

域があることを確認してはいますが、その後の改善状況、また中越地震を教訓として地域防災計画への対応を検討しているか伺います。

Q 震災に備え 防災無線の改善を

それを母体に全町的な防犯体制を強化するソフト面の整備を進めたいと思っています。「安全・安心

心のまちづくり」大綱を策定し、施策の指針としていきたいと思えます。

迷惑をおかけしているのも事実です。有事に備えて庁舎と情報センターの二カ所に自家発電装置を備え、週一回試運転もしています。平成十八年度に、国の補助を受けて、デジタル化、双方向通信など災害にも強い緊急通信システムの整備を図る計画です。また消防団をはじめ各地の自主防災組織の強化、防災倉庫や資機材の整備も重要です。

にも取り組んでいきたいと思えます。(再々質問) 問 防犯活動をする団体に、助成その他の援助を考えていただきたい。また児童に防犯ブザーも貸与されていますが、防犯ブザーも進化していますので、調査検討をお願いします。 教育長 PTAなどいろいろな取り組みをいただいています。具体的なお話があれば教育委員会としても考えます。今年四月から全児童に防犯ブザーを貸与したところであり、運用管理、費用対効果、個人の行動など、研究させていただきたいと思えます。

- 海野豊学校教育課長 本町でも不審者の出没や、下校時に子供が見知らぬ人に声をかけられたとかいうことも出ています。防犯ブザーも貸与して状況をみています。PTAや地域では防犯パトロール、子供110番などいろいろな形で積極的に取り組んでいただいております。

12月議会の会期日程

第一日目

十二月七日(火)

議員協議会

開会

・本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸報告

・議案の上げ、質疑、各委員会付託

・水源対策特別委員会

・地方分権対策特別委員会

・教育厚生常任委員会

第二日目

十二月八日(水)

・本会議 一般質問

・教育厚生常任委員会

第三日目

十二月九日(木)

・産業土木常任委員会

・総務常任委員会

第四日目

十二月十日(金)

議員協議会

・本会議

・委員長報告

・質疑、討論、採決

・閉会

視察研修報告

香川県高松市

直島町を訪ねて



研修委員長

鷹野 一雄 議員

昭和町議会では、町民の福祉向上と行政課題や、



サンポート高松にて

議員の資質及び見識向上を目的に議員研修を実施しています。

先進地の行政を直接見聞することにより正確な知識を得るため実施しているもので、十月二十七日二十八日に香川県高松市・直島町を訪れ、まちづくり・議会運営・環境問題など先進的事例の調査・研究と、行政視察研修を実施しました。

高松市のサンポート高松は、JR高松駅周辺を香川県のシンボルとして港湾を埋め立て、総合整備事業区域四十二ヘクタールの地区画整理事業を含め、県、市、民間が一体となり、二千億円以上の巨費を投じて素晴らしい港湾都市を建設し、官公庁、商業、文化、交流、情報など多様な機能を有する拠点づくりを進め、活性化を図っていました。直島町は、自然と文化と産業が調和した雰囲気漂っている町でした。有名な建築家が公共施設等の設計をした経緯を聞き、議場も円形を基調に、ゆったりとした造りで、

中学生の子供議会を傍聴し、町の幼・小・中一貫教育の中で縦割りの教育にも配慮を感じました。

また、三菱マテリアルの工場を中心に発展をしてきた企業もリストラにより人口が激減し、少子高齢化・過疎化が進む中、島の活力と発展を維持していくために新たな産業を創出して町の活性化を図り、合併せず自立を目指す町という点で関心があつた町です。

財政改革を進めると、財源的にも厳しい中、

行政財政改革を進めると

新潟県中越地震

被災者へ義援金

昭和町議会では、議員各位のご協力により被災地の方々が一日も早く生活復旧できるよう願って十万円を送付しました。

また、香川県さぬき市の台風23号の被害者に対し、災害復旧のため三万円を手渡しました。

もに、財源確保のため、いくつかの条件をつけ、住民合意のもと、直島町に豊島廃棄物物の中間処理施設を建設し循環型社会のモデル地域を目指し、エコアイランドとして多額の補助金で町の基盤強化を図っています。

基盤産業である漁業育成をはじめ、いろいろな施策の展開をしています。今回の見聞を今後のまちづくりや町政に生かしていきたいと思えます。



さぬき市の台風災害に義援金（議長・副議長）

議会1年の おもな動き

県町村議会関係

- 1月
 - ・議会運営委員会研修会
 - ・議長行政視察研修
(東京都)
- 4月
 - ・議長会議
- 5月
 - ・議長定期総会
 - ・地方財政危機突破総決起大会(東京都)
- 6月
 - ・議会運営委員協議会定期総会
 - ・広報研究協議会定期総会
 - ・議会運営委員研修会
- 7月
 - ・広報編集委員長研修会
(新潟県)
 - ・議長会第二回理事会
 - ・公務災害補償等組合議会臨時会
 - ・正副議長・委員長研修会
 - ・議会運営委員長視察研修
(三重県)

その他

- 8月
 - ・議会広報コンクール表彰式、研修会
 - ・議長行政視察
(新潟県)
 - ・議員研修会
 - ・監査委員全国研修会
(東京都)
 - ・議長全国大会
(東京都)
 - ・地方分権推進総決起大会(東京都)
 - ・議長会第三回理事会
- 9月
 - ・池田訪問看護ステーション視察(長野県)
- 11月
 - ・リニア建設促進期成同盟会総会
 - ・都江堰市友好都市締結十周年記念訪問
(中国)
 - ・中部横断自動車道整備促進静庵地域議員連盟協議会(静岡県)
- 12月
 - ・委員会同研修
(群馬県)
 - ・市町村合併講演会
 - ・議会運営委員・広報編集委員合同研修会
(千葉県)
- 4月
 - ・都江堰市友好協議会総会
 - ・常永地区土地区画整理事業説明会
- 5月
 - ・中部横断自動車道・中央自動車道拡幅同盟通常総会
 - ・リニア建設促進期成同盟会総会
 - ・都江堰市友好都市締結十周年記念訪問
(中国)
 - ・中部横断自動車道整備促進静庵地域議員連盟協議会(静岡県)
- 6月
 - ・相良町・御前崎市表敬訪問(静岡県)
- 7月
 - ・第十五回ネクスト・ウエーブ・フォーラム
- 8月
 - ・主要地方道甲府南アルプス・田富町敷島線建設促進期成同盟会定期
- 10月
 - ・議員行政視察
(香川県)
- 11月
 - ・産業土木常任委員会
母・釜無工業団地視察
環境保全推進協議会視察研修

産業土木常任委員会

工業団地を視察研修



工業団地の視察研修(中家製作所にて)

十一月十八日(木)午後から、国母工業団地内のユーディナデバイス(株)、釜無工業団地内の浅川熱処理(株)、(株)中家製作所、甲府精鈺(株)を視察研修しました。
ご多忙の中、ご協力ありがとうございました。

わたしの好きなまち

じょうわ

みんなが誇ることができる昭和町に



押原中学校・一年

伊藤 駿

昭和町のよいところは
どこなところですか？と
聞かれたら、みなさんは
どう答えますか？僕は、

「地域の交流が盛んなところ」と答えるでしょう。休日には、元気な老人がゲートボールをしたり、夏には小学生がソフトボールやソフトバレーボールに取り組んでいる姿がよく見られます。また、ふるさとふれあいまつりなどの行事で、地区ごとにいろいろな取り組みをしたりと、非常に地域の交流が盛んな町だと僕は思います。

また、昭和町が、他の町に誇れるものとして、緑の豊かさというものがあると思います。おいしい水に、たくさんさんの自然とてらすばらしい環境で、僕たちは生活していると思います。しかし、最近、昭和町から自然が消えていると思います。

そのかわりに、住宅地やいろいろな店が増えてきています。快適な生活にするためにいろいろなものを建てることも悪いことではありませんが、これからの昭和町は、自然とのバランスを考えて発展していくべきだと思います。

他にも、児童館や図書館、温水プールなど、非常に充実した施設がたくさんあります。その反面、今日の社会では、いたる所で事件や事故が発生しています。そのために、昭和町ではいろいろな対策をしているのをみなさんは知っていますか？

例えば、昭和町は、防犯パトロールを行っています。また、町内の小中学生に防犯ブザーが無料で配布され、僕たちが安全に生活できるように配慮されています。そのような活動をしてくれている人々に、僕たちはとても感謝しなければなりません。自然とのバランスのとれた、さらに快適に住みやすい町、みんなに誇ることができる昭和町になることを願っています。

中学生からのメッセージ



地域の交流が盛んな昭和町（総合体育館）

他にも、児童館や図書館、温水プールなど、非常に充実した施設がたくさんあります。その反面、今日の社会では、いたる所で事件や事故が発生しています。そのために、昭和町ではいろいろな対策をしているのをみなさんは知っていますか？

例えば、昭和町は、防犯パトロールを行っています。また、町内の小中学生に防犯ブザーが無料で配布され、僕たちが安全に生活できるように配慮されています。そのような活動をしてくれている人々に、僕たちはとても感謝しなければなりません。自然とのバランスのとれた、さらに快適に住みやすい町、みんなに誇ることができる昭和町になることを願っています。



議会広報
編集委員会委員に
井上伸千議員を選任

平成十六年第三回昭和町議会定例会(九月開催)において、地方分権対策特別委員会が設置されたことに伴い、広報編集委員の定数改正を行い、新たに選任されました。

編集雑感

去年は、大雨・台風・地震と天災が続きましたが、今年は、大晦日の降雪で新年を真っ白な気持ちで迎え、酉年の酉のように皆さんが大きく羽ばたき、景気回復と、三位一体による負担を弾き飛ばすような年になりますようご祈念申し上げます。また、これからも町民の皆様慣れ親しまれる広報誌づくりに編集委員一同、取り組んでまいりますので、よろしく願い申し上げます。

次回の定例議会は、三月上旬を予定しています。傍聴を予定されている方は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局
二七五 二一一
(内線二七〇)